年間授業計画　新様式例

高等学校　令和４年度（１学年用）　教科　国語　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　　1 組～　　3 組

教科担当者：（１組：石鍋）　（２組：石鍋）　（３組：石鍋）　（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（ 言語文化（大修館書店）　　）

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を広げたり深めたりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 作品の要点を読みとる 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。［(2)カ］ 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・指導事項 文章の内容をつかむとともに、読書の意義について考える。 ・教材 文字の深秘			○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。［(2)カ］ 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。［B(1)イ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	3
	B 単元　古典の読み方を知り、考え方を比較する。 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。［(2)ウ］ 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動。［B(2)ウ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	・指導事項 基本的な古典の読解方法を理解するとともに、作品を読み比べ、テーマについて考えようとする。 ・教材 絵仏師良秀、地獄変（芥川龍之介）、リアリズム殺人事件（エスパー魔美）		○		【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。［(2)ウ］ 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動。［B(2)ウ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
	C 単元　古人の自然観を知り、自然の考え方を深める。 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。［(2)イ］ 【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。［A(1)ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品ごとの自然観を理解しようとしている。	・指導事項 現代や古文、漢文の複数作品を比較しながら、自然や季節の美しさについて自分の考えを深める。 ・教材 春はあけぼの、をりふしの移り変はるこそ、実体の美　状況の美、唐詩　等 ・一人１台端末の活用　等 端末を使った調べ学習、レポート作成			○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。［(2)イ］ 【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。［A(1)ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品ごとの自然観を理解しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
2学期	D 単元　寓話・象徴を読みとり、表現について考える。 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典特有の表現などについて理解している。［(2)ウ］ 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。［B(1)ウ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・指導事項 筆者が象徴的に表現したことを捉え、表現の効果や内容についての理解を深める。 ・教材 雑説、羅生門、青が消える等 ・一人１台端末の活用　等 課題の提出等			○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典特有の表現などについて理解している。［(2)ウ］ 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。［B(1)ウ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。		1		12
	定期考査						○	○		1
	E 単元　詩歌の表現技法と効果を考える 【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。［(1)ア］ 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。［B(1)オ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、広い視野から国際理解に臨む姿勢を持ち、我が国の言語文化をあらためて見直そうとしている。	・指導事項 詩歌の表現技法とその効果について理解を深め、古代から現在のさまざまな詩歌を解釈する。 ・教材 サーカス、Cirus、恋するころ、伊勢物語、漢詩、俳句・短歌 ・一人１台端末の活用　等 調べ学習、課題提出			○	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。［(1)ア］ 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。［B(1)オ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、広い視野から国際理解に臨む姿勢を持ち、我が国の言語文化をあらためて見直そうとしている。		1		14
	定期考査						○	○		1
3学期	H 単元　死生観について考える 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)ウ］ 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。［B(1)エ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、時代背景と登場人物との関係を理解したり、会話文や手紙から登場人物の状況や心情を理解する学習	・指導事項 生と死についての文章を読み、理解を深める。 ・教材 城の崎にて、平家物語等		○		【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)ウ］ 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。［B(1)エ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、時代背景と登場人物との関係を理解したり、会話文や手紙から登場人物の状況や心情を理解する学習に、意欲的に取り組んで	○	○	○	17
	定期考査						○	○		1
										合計 70